

西予市宇和町卯之町(愛媛県)

(1) 保存地区の概要

地区名 西予市宇和町卯之町

種別 在郷町

面積 約4.9ヘクタール

選定年月日 平成21年12月8日

特徴 西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区は、宇和島藩領へ抜ける旧宇和島街道に沿って形成され、宇和盆地の物資の集積地となり在郷町として栄えた。江戸時代から昭和初期の町家が残り、妻入りと平入りが混在した町並みである。また、近代に欧米の影響を受け、外観に洋風意匠を取り入れた建築物も見られる。



(2) 保存地区のあゆみ

昭和59年度(1984) 広島大学鈴木充教授等による町並み調査実施

平成5年度(1993) 中町町並み保存地区が町指定有形文化財に指定

平成9年度(1997) 大阪市立大学谷直樹教授等による町並み調査を開始

平成10年度(1998) 宇和町卯之町保存対策調査報告書発行

平成18年度(2006) 市指定文化財「中町町並み保存地区」の名称及び区域変更

平成19年度(2007) 「住民の暮らしアンケート」を実施
「卯之町まちづくり計画」の策定

平成21年度(2009) **重要伝統的建造物群保存地区に選定**

平成23年度(2011) 重伝建選定1周年記念事業開催

平成25年度(2013) 「町並み保存の手引き」発刊

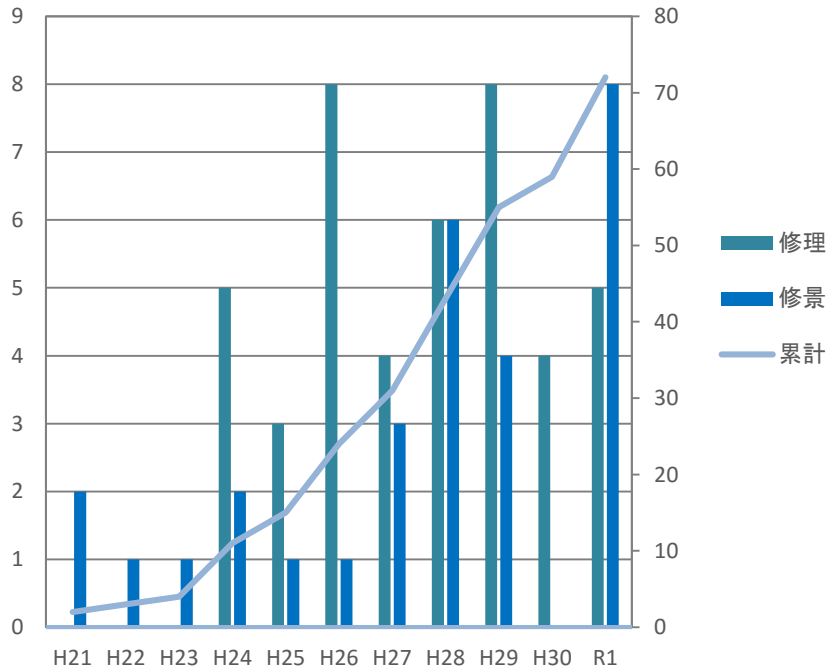
平成27年度(2015) 旧武蔵をむかしの暮らし体験施設として活用開始

平成30年度(2018) 卯之町重要伝統的建造物群保存地区防災計画策定・報告書発行

(3) 保存地区の保存と整備

・修理、修景事業(補助事業)

重伝建地区に選定された平成21年度から令和元年度の間、町家等の修理・修景事業を72件実施。内21件が国庫補助事業で51件が市単独事業となっている。主に建物全体(屋根・外壁・構造)や新築修景については、国庫補助事業とし、塀や生垣、外壁のみの簡易な修理・修景については市単独事業により実施。また、案内板設置やまちなみ広場の整備を行った。



修理事業



修景事業



案内板



まちなみ広場



(4) 保存地区の活用とまちづくり

- ・マスコミ等の注目度の向上
- ・小学生のまちなみ学習による郷土愛の育成
- ・昔のくらしの体験学習
- ・伝建を含めたまちづくり視察の増加
- ・伝統的建造物を活用した人材育成(西予開成塾)
- ・大学との連携



小学生の町並み学習



日米学生会議



伝統的建造物での人材育成



昔のくらし体験

(5) 住民等の取組

- ・卯之町町並み保存会の取組

保存地区内での出来事等の広報活動
保存に関する勉強会
先進地視察研修会
防災活動の啓発
地域行事の復活

- ・活動事例



重伝建選定5周年事業



消火器収納BOX作り

- ・地域住民の声

卯之町町並み保存会会長

「当地区は、平入と妻入りが混在する在郷町です。保存地区内の住民の暮らしの環境の保持・改善に努めながらの町並み保存を目指しています。高齢化・空き家など課題はありますが、地区内でのコミュニケーションを大切にして保存活動に取り組んでいます。予想される災害を念頭に地域における防災をテーマに地道に活動を広げたいと考えています。」